

# 災害に強いまちづくりを



質問者  
寺嶋 正 議員

松田町は、東海地震防

災対策強化地域であり、  
神奈川県西部地震の発生  
も懸念される。

- ① 防災行政無線が聞き取りにくい地域の実態調査と対策、戸別受信機の普及促進は。
- ② 避難所や電気・ガス・水道などライフラインの安全点検は。
- ③ 建築物の耐震診断・耐震改修の促進を図るための支援策の拡充は。落下物やブロック塀等の安全対策は。



④ 避難者と帰宅困難者の受入体制と対策、

飲料水や食糧の確保、防災備蓄品の整備と充実策は。

⑤ 大規模地震災害が発生した場合に、寄地区が孤立する恐れがある。避難対策と救援・救助策は。

## 防災対策の強化に努める 回答 (町長)



- ① 聞き取れない家庭の対策は、戸別受信機・テレホンサービス・あんしんメール」で対応している。

② 建築基準法が改正された以後に建築した避難所が大半である。また、上水道の配水管や配水池は、耐震化により安全確保に努めている。

③ 木造建築物耐震診断補助や生垣設置奨励補助を、町の支援策としている。

④ 災害時に、各自主防災会は人命を保護する

## まちづくり事業の課題について



質問者  
菅谷 一夫 議員

ため、指定している避難所を開設する。帰宅困難者が多数でた場合、県と協力し避難所の設置と避難誘導・情報提供などに努める。

⑤ 負傷者の救助を最優先に、情報収集用バイクを寄4個分団に配備し、民間のヘリコプターで情報収集を行う。

総合計画は定住化促進を主眼とした「まちづくり」施策の遂行により、住民の利便性や居住環境、取り分け「医療」や「教育」、「福祉」等の成熟度向上が重要視されています。「街づくり」の礎である道路整備もこれらに比肩する事業と考えるので、将来設計の観点から生活道路としての

- ① 通称「下り道」の県道711号は歩道設置により線形改良されるが、交通安全や街並み景観等の再構築で、まちづくり事業としての「効果」や「評価」の見込み度合いは。
- ② 新松田駅南口の駅

## 町の再生は道路整備を礎として 回答 (町長)



広整備道路の町道5号線は、街づくり及び生活道路としての観点から、延伸整備を計画策定なさる考えは。

- ① 下り道は、両サイド2.5mの歩道と電線地中化整備で、通勤通学者や住民の利便性・安全性にもつながり総合計画の主題である定住化策の推進と、潤いのある街並み形成を考え



- ② 主要生活道路としての町道5号は、南口広場を核とした交通の回遊性は利用者の安全性・利便性と共、災害時の防災空間としての効果を期待できる。南口から仲屋町宮住宅、川音川右岸堤防道路を経て、文久橋に接続する歩道を整備した道路整備は、今後必要である。この延伸整備計画は、町宮住宅の整備計画共々、計画策定する考えである。